

実態把握

学校名 市立

(小・中) 学校

No.

児童生徒名	I (男・女)	記入月日	年 月 日
記入者(役割)	福祉コーディネーター	生年月日	年 月 日 学年 3学年
○主に課題となっている点 (本人が困難に感じていること、担任が困難に感じていること)			
<ul style="list-style-type: none"> ・学習でつまづいた時に、解決できないことに苛立ち、乱暴な言動をとってしまう。または、教室を出てしまう。 ・一つのことに注意が向くと、切り替えがなかなかできない。 ・一つの活動に集中を持続させることが難しい場合がある。 ・思いついたことをすぐ口にしたり、行動に移したりする。 ・板書や教科書の文字が見にくい。読む時に、行をとばしたり、書くときに「は」「わ」「へ」「え」などを適切に選択できないことがある。 ・整理整頓が苦手である。 			
○興味・関心、得意なこと、進んで取り組むこと、その子のよいところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・作業的なことや工作などを好み、自分なりに工夫しながら一生懸命取り組む。 ・困っている人がいた時に、進んで手伝うことができる。 ・ドリル的な学習に熱心に取り組むことができる。 			
学 校 で の 様 子	1 基本的な生活習慣	・整理整頓が苦手であるが、一つ一つ声かけすれば、きちんと片付けることができる。	
	2 学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの情報を同時に処理しながら、プランを立て、学習を進めていくことが苦手であるが、進め方の手順を整理してあげれば取り組むことができる。 ・「を」と「お」、「へ」と「え」など助詞の表記に誤りがみられやすい。 ・行をとばして読むことがある。 ・拗音(拗長音)の表記が苦手である。 ・文字の形やバランスをとることが難しい。 	
	3 大人との関係	・大人と関わることを好み、自分のしていることを見てもらったり声をかけてもらったりすると嬉しそうに言葉をかけている。	
	4 友達との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に活動したい気持ちは強いが、状況や相手の反応によっては、表現の仕方や活動の仕方が乱暴になったり、自分を優先したい気持ちが強く出てしまったりすることがある。 ・苛立った時にその気持ちを抑えられず、友だちに対して怒ってしまうことがある。 ・周囲の友だちは、苛立たせるような言動をしなくなったが、乱暴な子という見方が固定しており、進んで一緒に活動しようという子は多くない。 	
	5 集団行動	・行動の切り替えがうまくいかず、始まりや終わりの活動を一緒にできないことがある。	
	6 その他 学級の様子等	<ul style="list-style-type: none"> ・自己否定的な言動が見られるようになってきた。 ・制止、禁止、疎外の表現に敏感である。すべきことを具体的に肯定形で伝えると、スムーズに活動できることが多い。 	
家 庭 で の 地 域 子	1 家族構成・家庭環境 特記事項なし	2 生育歴・教育歴 ・対人関係のトラブルや乱暴な言動に至った時に、罰として、集団から離される経験を幼少期から数多くしてきている。その一方で認められる経験が少ない。	3 家庭や地域での様子 地域のサッカーチームに所属し、意欲的に練習に取り組んでいる(月4回活動) 室内犬を飼っており、よくかわいがっている。
○他機関(教育センター、医療機関、児童相談所、放課後ルーム、民間教育機関)利用状況 Aクリニック(****-****)保護者相談 教育センター(****-****-****)心理検査等 学童保育(Tel ****-****)担当者と対応方法等の相談			
○保護者の意見 特別な視線を感じさせたくない。 読み書き等については、個別の工夫や配慮が必要なことが実感できてきた。			